

# 待ちに待った社員旅行

## 8年ぶり2泊3日の旅 (4月10日~4月12日)

### 行き先は



# とげんかさんと いかん宮崎



## 日本発祥の地

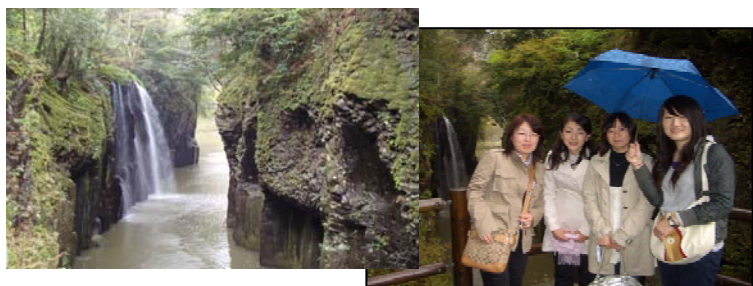
旅行会の朝はとも早く、バス送迎の方々には午前4時50分集合なので、その時間に合わせるために早朝3時に起きる人もいた様です。

残念ながら直前で体調をくずす人や、寝坊で来れなかった人がいましたが眠気と共に、参加者は重い荷物を持って羽田空港を目指しました。

羽田空港からはA班とB班に分かれて九州に向かい、約2時間で阿蘇熊本空港に到着し、バスで旅行最初の目的地高千穂峡に向かいました。

高千穂峡は、阿蘇山の火山活動による溶岩流が数万年前に侵食されてきた名勝天然記念物です。峡谷に流れ落ちる滝は、真名井の滝といつて日本の滝百選のひとつに選ばれています。また神話によれば天村雲命(あまのむらくものみこと)という神が天孫降臨の際に、この地に水がなかったために、水種を移しこれが真名井の滝となって流れ落ちたといわれています。

ボートで滝の近くまで行けるのですが、旅行前日に雨が降り水かさが増えていたために、ボートに乗れず残念でした。参加者は峡谷沿いの遊歩道を下って、奥まで行きましたが途中の道は急な坂や階段などがあり、息をきらしながら歩きました。



がら歩きました。しかし流れる水の音や深く生い茂る緑、岩に生える苔など普段は見られない自然の情景はとも神秘的です。続いて天岩戸を御神体とする天岩戸神社に行きました。天岩戸とは天照大御神が身を隠したという洞窟の事です。バスガイドさんが社務所に話をつけてくれて普段は見られない社殿内を拝観できました。天岩戸神社から500メートルほど離れたところでは天安河原がありここは、岩戸に隠れてしまった天照大御神を迎えるために、八百万の神々が話し合った場所とされます。急坂を登り、バスの駐車場に着くや否やぐったりとし一路青島温泉に向けてバスは動きだしました。

1日目の宴会後はホテル内のもんがらでカラオケで盛り上がりました。

## 青島・鶴戸・鉄肥・平和台 各地の観光地へ

観光組50名はバス2台に分乗、最初の観光地青島に向かいました。しかし朝食前にすでに青島に行ってしまった人もいて添乗員さんにも怒られてしまった人もいたようです。青島は周囲約1.5キロの小さな島、海岸は椰子で覆われており、また島の中にある青島神社周辺は亜熱帯植物がたくさんあり、ジャングルの中に来た様な感覚になりました。島の海岸線には、波に侵食されて出来た鬼の洗濯板といわれる地層が広がっており、自然が創る芸術品という感じでした。



続いて鶴戸神宮に行き、参拝するまでは勾配のきつい坂を登らねばなりませんでしたが、道中の景色や切り立った崖の下にある社殿はとも美しかったです。また御本殿近くには、亀石と言われる岩がありその岩の穴に男性は左手で、女性は右手で運玉を投げ入れれば、願いごとがかなうといわれていて皆が挑戦していました。次に小京都と呼ばれる鉄肥城に行きました。鉄肥は歴史を感じさせる武家屋敷や藩校、資料館など様々な施設があり用意してくれたパンフレットにより自由に見学ができ、江戸から明治にかけての当時の人々の生活ぶりを見ることができました。座って射的を行う四半的というものも行わ



## フェニックスCに挑戦

前日、早起きしたにも拘わらずゴルフ好き18名は、観光組より一足早く朝食をすませ、会場のフェニックスCに勇んで出発した。コースはあのタイガーウッズが制覇したフェニックスCの住吉、高千穂コースです。タイガーウッズのドライバーの飛距離が300ヤードをはるか超えていたためにコース上に記念プレートがあり、そこを目指してガンバルとボールは林の中！一度林の中に打ち込んでしまつとスコアはガタガタとかこの難コースを制したのは佐藤統括部長でした。おめでとうございます。



最後の目的地は平和を願う巨大な塔が建っている平和公園です。塔の前の広場には、プレートがありそこから塔に向かって手をたたくとピンと音が響くので沢山の人が手を叩いていました。塔は八紘一宇の大きな文字が刻まれており、また四人の神が各所に配置されている巨大な建物です。奥の方には、はにわ園があり周囲にはたくさんのはにわが並んでいて、少し不気味な感じがしました。



宿泊地は誰もが一度は泊まってみたいと思っていたフェニックスシーガイアリゾートです。ホテルの豪華さにまず驚き部屋が広く、窓からの眺めが海を見下ろすことができ最高。宴会のビンゴ大会や宮崎出身の民謡歌手 柿原重幸様が民謡を披露していただき大変盛り上がり、とても楽しい時間をすごすことができました。宴会後はボウリングをする人やバーやラウンジでくつろぐ人など思い思いに過ごし2日目の夜は更けていきました。

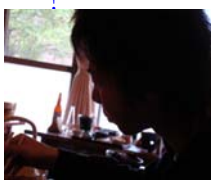
## 空振りの県庁訪問

旅行最終日の目的地は、話題の宮崎県庁です。宮崎県庁舎は全国の都道府県庁舎のなかで4番目に古い建物で、総石造りで重厚さがありとても雰囲気のある建物。また玄関前の広場には南国らしくヤシなどの木がありました。残念ながら当日は東国原知事も不在のため、記念写真撮影後すぐにみやざき物産館へ開店直後から買い物客でごった返しになり商品を選ぶのにもひと苦労。商品には知事のイラストが描いてあり知事の人気を改めて確認しました。大混雑の物産館から抜け出しバスに戻ると、すぐに宮崎空港に着き、解散式を行い、班ごとに、スタート地点の羽田空港に向かいました。



## あとがき

〇思いでとお土産をいっぱい載せた帰りの飛行機の窓から見た鮮やかな青い海、松林と緑のジュータン一色のフェニックスCは神秘の高千穂峡や太陽がいっぱいの青島、日南海岸と共に宮崎の印象を心に焼き付ける光景でした。さて、今回社内のコミュニケーションを活発にするため日昭ジャーナルとして立ち上げました。今後2回発行を目指していく所存です。夢・・・次は海外か！



私は誰でしょう？